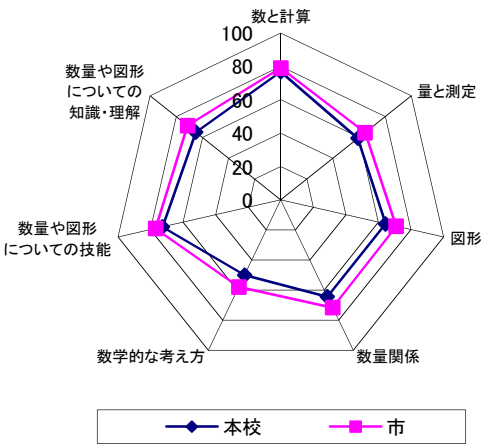


宇都宮市立細谷小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	76.8	79.0	78.9
	量と測定	59.2	64.6	66.2
	図形	64.4	70.9	77.8
	数量関係	64.3	71.6	66.6
観点別	数学的な考え方	50.0	57.8	54.8
	数量や図形についての技能	72.7	76.9	75.2
	数量や図形についての知識・理解	65.1	71.3	75.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	分数の計算ではひき算の正答率82. 8%, 約分を含むわり算で90. 6%で市の78. 9%, , 90. 1%を上回ったが, 分数のわり算の文章題は線分図, 立式と73. 4%, 40. 6%で市の77%, 52. 2%を下回った。文章題の考え方について今一度確認し指導する必要がある。	文章題の指導は, まず数を分かりやすい整数に置き換え考えさせる。次に問題文をよくそしゃくし, 数の大小をもとに線分図を完成させる。そして答えの見当をつけ四則のどの計算を用いるかを判断し立式ができるようにする。また単位に着目し既習の比の応用も解決の有効な手立てなので指導に役立てる。いずれも練習問題にて習熟を図る。
量と測定	単位量当たりの速さの問題で, ある道のりを進むのにかかる時間の問題は正答率68. 8%, 分速を時速に直す問題は43. 8%であり, 市の正答率73. 9%, 51. 2%を下回った。「速さ」「時間」「距離」の関係を今一度確認し, 指導する必要がある。	「速さ」「時間」「距離」の関係を公式として覚えるように指導する。速さの単位は時間ごとの距離なので距離や時間の単位を式内で統一しなければならないことを押さえる。覚える式は3通りではなく1つだけとし, 式の変形ができるようにする。練習問題にて習熟を図り内容を高度化していく。
図形	点対称の作図の問題は, 正答率79. 7%で市の正答率82. 2%を下回った。また円の直径から円周を求める式については, 正答率32. 8%で市の48%を下回った。単元においての基礎・基本を確認し, 確実な理解に努める必要がある。	点対称は対称の中心を中心に180度回転すると重なることを押さえる。移動後の図形をパソコンなどの視聴覚教材で明確に示すようにする。練習問題を繰り返すことにより, 対応する点が容易に理解できるようにする。円周を求める公式は, 面積の公式と混同したり, 式の変形に難があったりするので, 面積の公式との区別や実際に計算したときの単位の確認, また図示しながら変形の式を導くなどの手立てを講じ理解を確実にする。
数量関係	比例・反比例の問題は, 正答率89. 1%, 84. 4%で市の正答率92. 7%, 88%を下回った。文字式の問題は, 文字の関係式, また数を代入して一方の数を求める計算であったが, 正答率は62. 5%, 64. 1%で市の正答率78. 5%, 74. 6%を下回った。単元においての基礎・基本を確認し, 確実な理解に努める必要がある。	文字の関係式には, 間違いにはならないが変形した式の解答が見られる。問題文をよく読み, 四則計算の何が当てはまるかを考え, そのまま式に表すように指導する。練習問題は多くを当たり, 慣れるようにする。数の代入後は簡単な整数に置き換えたり, 答えを予想したりして正答が導けるようにする。また, かけ算やわり算を使った場合はたし算ひき算を使わないこと, またその逆も合わせて指導したい。